

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ5	出席委員数	4名
日時	平成22年 7月31日(土) 10時00分～12時00分		
場所	北方町公民館 第2会議室		
【協議事項】(テーマ等)			
○ 地域の教育力について			
次回開催日について			
○ 8月28日(土) 午前10時から			
ー主要意見ー			
◆ 地域の教育力について			
・ 地域のコミュニティ活動に参加する事は必要であると思うが、生活様式の多様化等により参加しづらい面もある。			
→ 町内のごみ拾いなどは早朝に実施しており、他の予定があっても参加しやすいように配慮している。			
運動会は参加賞があるため、参加する人が多い。			
・ イベントがある事は知っているが、地域の人に知り合いがいなため参加しづらい。			
・ 高齢者世帯が多い地域では、若い人の人手が少ないためコミュニティ(自治会)活動を優先せざるを得ない状況もある。ただ、地域の人の子供の世話をしてくれるので、参加しやすいしつながりもできる。			
・ 町外に仕事に行っているの、在宅しているのは夜間と休日のみである。その状況でコミュニティ活動に参加するためには、できる事とできない事がある。例えばパソコンで資料等を作成するような事であれば引き受ける事もできるが、平日に会合に出席するようというような事であれば参加する事は困難である。			
・ アパートの住民は、賃貸借契約で自治会加入が義務付けられている場合もあるため、自治会に加入している人も多いが、共益費のような名目で自治会費を納めているため、自治会に加入しているという意識はない人が多いのではないかと感じる。			
・ アパートの住民はいずれ転居してしまうというイメージがあるため、持ち家の人とアパート居住の人の間でのコミュニティ活動に対する意識に相違があるのではないと思う。			
・ 生活スタイルの多様化や価値観の相違等により、親と子が同居し続ける事さえ困難になってきている場合もある。そのため、独立してア			

パート等で別居している人も多いと思うが、完全に絆を断ち切るのではなくどこかでつながりを維持していく事が重要である。

- ・ 子供に「あいさつができる子になって欲しい」とか「思いやりのある子に育て欲しい」と思うようになってくると、家庭の中だけでは無理だと感じた。コミュニティ活動に参加して地域の人たちとふれあう事の重要性を強く感じる。コミュニティ活動に参加する義務がなくなれば親としては楽かもしれないが、子供の成長を考えるとマイナス面の方が多いと感じる。
- ・ 現在、退職した老人の方が、学校の登下校時に見守りボランティアをやってくれている。現役世代は仕事が忙しくコミュニティ活動に参加する事が困難な人も多いが、将来的にはコミュニティ活動に参加して、自分たちがしてもらってきた事への恩返しをする事も必要ではないかと感じる。
- ・ コミュニティ活動の在り方としては、単一の価値観を押し付けるのではなく、多様な価値観を尊重しながら様々な意見を取り入れていく事が重要であると感じる。そういう考えの人がリーダーになると、コミュニティ活動に参加しやすくなると思う。

次回協議事項

- 地域の教育力について

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入でお願いします。